



俳句ゆめクラブ会報

2022年6月28日

第 145 号

暑い、暑いので繰り返しの今日この頃、かつてこのように6月も終わらぬのに晴れ続きで暑さが続いたのは記憶にない、それ程の異常な年なのか、それともこうした事がこれからもあるのだろうか、そんな具合の中での句会であった。

兼題は「梅雨晴間」であった。

梅田先生の句

校庭を一直線に夏つばめ
沙羅の花思ひを強く生きねばと
威勢よく尿放つ馬梅雨晴るる

梅田先生選

《特選》

母植ゑし四葩の咲きし生家かな
夏至もはや時の流れの逆らへず
縄張りをなほも争ひ水馬
空梅雨や老いに厳しき化粧坂
梅雨晴間野原も空も広く見ゆ
天空に富士のくつきり梅雨晴間
高齢者講習終了梅雨晴るる
沖繩忌少女の語る平和の詩
青柿の落ちてしづかな空家かな

《入選》

老鶯の声一頻り夜の明くる
古刹にてまさに主役や濃紫陽花
寺カフェーひととき賑やか梅雨晴間
クローバー大地の息吹き足裏に
鮮麗な色を誇れる花菖蒲

巣作りの雀忙しき梅雨晴間

緑陰の話佳境となりけり

熱海城夏の夜空に浮くごとし

また友の訃報のありて沙羅の花

ペランダは満艦飾や梅雨晴間

白南風の大仏の鼻くすぐれる

梅雨晴間長谷より海を望みけり

廃屋の枇杷に集まる鳥あまた

束の間の風に乗りくる夏燕

つゆ晴間下校児はもう傘持たず

梅雨晴間叫ぶ子の声遊園地

朝空に青さ際立つ七変化

杉並木足元著莪の花明り

コロナ禍の蛍マスクに止まりけり

眩しきや白き自動車夏の街

互選

寺カフェー爽やか一日梅雨晴間(3票)

大井昭子

風死して老ひひしひしと化粧坂(4票)

瀬戸川公子

ペランダは満艦飾や梅雨晴間(3票)

八千代幸男

梅雨晴間野原も空も広くあり(3票)

小林健一郎

校庭を一直線に夏つばめ(6票)

梅田ひろし

威勢よく尿放つ馬梅雨晴るる(3票)

梅田ひろし

沖繩忌少女の語る平和の詩(4票)

八千代幸男

〔決定事項・連絡事項〕

・次回句会 7月26日(火)

県活・宿泊棟第5会議室 13時より

兼題 「西瓜」

他に自由題で二句、合計三句提出のこと。

(小林健一郎記) (了)

